

新宿のニューカマー韓国人の
ライフヒストリー記録集の作成
— 顔の見える地域作りのための基礎作業 —

最終報告書

신주쿠의 뉴커머 한국인의 라이프히스토리 기록집 작성
—얼굴이 보이는 지역사회 만들기를 위한 기초작업—

최종 보고서

2012年5月

目次

インタビューの一覧表 / 인터뷰 — 일람표	i
ごあいさつ / 인사말	vii
プロジェクトの概要 / 프로젝트의 개요	xi
第一部 インタビュアーの視点・인터뷰어의 시점	1
論考 / 논고	
<論考 / 논고 1>	
武田里子「インタビュー調査について」	2
타케다 사토코「인터뷰 조사에 대하여」	
<論考 / 논고 2>	
若園雄志郎「プロジェクトにおけるインタビュー対象者の分析」	4
와카조노 유시로「프로젝트의 인터뷰 대상자에 관한 분석」	
<論考 / 논고 3>	
堀内康史「統計から見る新宿区の韓国人」	8
호리우치 타카시「통계로 보는 신주쿠의 한국인」	
<論考 / 논고 4>	
李 埈鉉「多文化空間での子育てをめぐるナラティブ」	14
이 호현「다문화 공간에서의 자녀교육을 둘러싼 내러티브」	
<論考 / 논고 5>	
吳 世蓮「心の癒しの場所、コリアンタウン— 私のナラティブ：自分と新宿区との関わり」	18
오 세연「—마음의 휴식처, 코리안타운— 나의 내러티브:신주쿠구와의 관계」	
<論考 / 논고 6>	
藤田ラウンド 幸世「生活空間を映し出す多言語景観 —新宿区大久保地域のニューカマー 韓国人に関わる言語景観を中心に」	20
후지타라운도 사치요「생활공간을 비춰내는 다언어경관(多言語景観) -신주쿠구(新宿区)오오쿠보(大久保)지역의 뉴커머 한국인의 언어경관을 중심으로」	
<論考 / 논고 7>	
川村千鶴子「新大久保の原風景 —母のライフヒストリーに寄り添って—」	39
카와무라 치즈코「신오오쿠보의 마음속 깊은 풍경 —어머니의 라이프 스토리의 곁에 다가서서—」	
プロジェクトのキーワード / 프로젝트의 키워드	
<キーワード / 키워드 1>	
河合優子「ナラティブ理論」	47
카와이 유코「내러티브 이론」	

<キーワード / 키워드 2>

川村千鶴子「人生に寄りそうライフサイクル論」…………… 49
카와무라 치즈코「인생에 동행하는 라이프사이클론」

<キーワード / 키워드 3>

藤田ラウンド 幸世「言語景観 (Linguistic landscape)」…………… 51
후지타라운도 사치요「언어경관 (Linguistic landscape)」

第二部 100人の韓国人ニューカマーたちの声…………… 55

100 명의 한국인뉴커머들의 이야기

詳細はインタビューの一覧 (ページ i～vi) を参照

자세한 내용은 인터뷰 일람(Page i～vi) 참조

おわりに / 마지막으로…………… 305

プロジェクトメンバー／프로젝트 멤버…………… 337

活動の記録 / 활동 기록…………… 338

インタビュー一覧表 ・ 인터뷰 일람표

	インタビュー実施日	タイトル	インタビュアー	使用言語	ページ
1	2009/11/1	キム・スヒョン (20代・女性) 「日韓共同作業を夢見る、作家志望生」	呉世蓮	韓国語	56
2	2009/12/17	Uさん (20代・女性) 「中国から韓国、そして日本」	河合優子	日本語	57
3	2010/1/12	Yさん (30代・男性) 「新宿は今の自分にちょうどいい」 / Y씨(30대・남성) 「신주쿠는 지금의 나에게 딱 좋다」	渡辺幸倫	日本語	58
4	2010/2/25	PHさん (30代・女性) 「幼稚園は小学校の予備教育？」	武田里子	日本語	62
5	2010/3/1	Cさん (30代・女性) 「今が人生のピーク」	ソン・ウォンソク	韓国語	63
6	2010/3/3	PYさん (20代・女性) 「10月に戻ります」	武田里子	日本語	65
7	2010/3/4	PHさん (20代・女性) 「将来の夢はパン屋さん」	武田里子	日本語	67
8	2010/3/4	金某さん (40代・男性) 「貿易業での成功を夢見て」	堀内康史	日本語	68
9	2010/3/12	Bさん (30代・女性) 「日本の生活に満足」	ソン・ウォンソク	韓国語	69
10	2010/3/18	L・M씨 (20대・여성) 「5년간의 일본유학생활을 되돌아 보고」 / L・Mさん (20代・女性) 「5年間の日本の留学生生活を振り返って」	呉世蓮	韓国語	71
11	2010/3/30	OYさん (20代・男性) 「男同士の約束」 / OY씨(20대・남성) 「남자끼리의 약속」	武田里子	日本語	75
12	2010/4/1	KJさん (30代・男性) 「一目惚れ」 / KJ씨 (30대・남성) 「첫눈에 반해버린 나의 아내」	武田里子	日本語	79
13	2010/4/1	Mさん (30代・男性) 「どの国でもいいところ・悪いところはある」	若園雄志郎	日本語	83
14	2010/4/3	Tさん (40代・男性) 「新宿から二度目の出発」	渡辺幸倫	日本語	83
15	2010/4/5	PYさん (30代・女性) 「チャンスの女神の前髪」	武田里子	日本語	84
16	2010/4/7	Tさん (30代・女性) 「異国での出産と教育について」	川村千鶴子・李桴鉉	日本語	86
17	2010/4/11	ヒロさん (30代・男性) 「韓国でできないことをしましょう」 / 히로씨 (30대・남성) 「한국에서는 하지 못 하는 것들을 해봅시다」	若園雄志郎	日本語	87
18	2010/4/13	ヨンさん (40代・男性) 「世界と日本のゲートウェイを作る」 / 영씨 (40대・남성) 「세계와 일본의 게이트웨이를 만들다」	渡辺幸倫	日本語	89
19	2010/4/16	Nさん (30代・女性) 「留学、結婚を経て、日本に暮らす」	藤田ラウンド 幸世	日本語	94
20	2010/4/18	Annさん (40代・女性) 「日本語さえできればたくさんのお国がある国、日本」	李桴鉉	韓国語	96

21	2010/6/2	Jさん(40代・女性)「日本で人生のチャレンジをする」/J씨(40대・여성)「일본에서 인생의 도전을 하다」	藤田ラウンド 幸世	日本語	97
22	2010/7/5	Sさん(20代・女性)「残りの大学生活でやってみたいのは英語の勉強」	河合優子	日本語	101
23	2010/7/7	Hさん(30代・女性)「商売、山あり谷あり」	渡辺幸倫	日本語	103
24	2010/7/8	Kさん(30代・男性)「日本で研究者に」/K씨(30대・남성)「일본에서 연구자로」	河合優子	日本語	106
25	2010/7/13	Rさん(20代・女性)「スペインにも留学したい」	河合優子	日本語	109
26	2010/7/17	LS씨(20대・여성)「정겨운 나라 일본, 많이 보고, 많은 것을 경험하고 싶은 나라」/LSさん(20代・女性)「懐かしい町並みを残している国、にっぽん、たくさんの事を見て、いっぱい体験してみたい国」	李桴鉉	韓国語	110
27	2010/7/18	J・Eさん(20代・女性)「理系界の女性研究者を志す」/J・E씨(20대・여성)「이공계의 여성 연구자를 꿈꾸다」	呉世蓮	日韓併用	113
28	2010/7/21	Oさん(20代・男性)「自分の力で何とかできるのがいい」	藤田ラウンド 幸世	日本語	114
29	2010/7/23	Hさん(20代・女性)「日本と韓国の関係をもう一步進めたい」	藤田ラウンド 幸世	日本語	116
30	2010/7/23	Kさん(20代・女性)「もっと勉強をするなら日本で」/K씨(20대・여성)「더욱 더 공부를 한다면 일본에서」	藤田ラウンド 幸世	日本語	118
31	2010/7/23	Zさん(20代・女性)「日本で学び、写真作家になりたい」/Z(20대・여성)「일본에서 배워서 사진작가가 되고 싶어요」	藤田ラウンド 幸世	日本語	121
32	2010/8/7	PHさん(40代・女性)「언제든 돌아갈 타국 땅에서 내 자녀들이 자라는 나라가 된 일본」/PHさん(40代・女性)「いつでも帰るといふ他国から、わが子が育つ国になった日本、これからは賢く日本を満喫し、子どもたちも両国の良さを学んでほしい」	李桴鉉	韓国語	125
33	2010/8/7	JOさん(40代・女性)「일본어가 너무 좋아, 좀더 실전 일본어를 배우고 싶어 일본 유학을 결심. 지금은 한국어 강사를 하면서 언어에 대한 열정을 불태우며, 박사논문 연구 중」/JOさん(40代・女性)「日本語が大好きでもっと本場の日本語を学びたい一心で留学、今は韓国語講師として言語への研究意欲を燃えつくしている」	李桴鉉	韓国語	129
34	2010/8/12	李某さん(30代・男性)「ジャパニーズドリームの可能性に賭けて」	堀内康史	日本語	132
35	2010/9/14	YJ씨(20대・여성)「집주인 아저씨의」	呉世蓮	韓国語	133

		따뜻한 마음 / YJさん (20代・女性) 「大家さんの優しい心」			
36	2011/3/3	Eさん (30代・女性) 「お世話になった日本、でも遠慮しながら生活する」	ソン・ウォンソク	韓国語	139
37	2011/3/4	Fさん (30代・女性) 「便利な日本生活、でも…」	ソン・ウォンソク	韓国語	140
38	2011/4/19	キョウさん (20代・女性) 「濃密すぎる29年」	渡辺幸倫	日本語	142
39	2011/4/20	イサオさん (30代・男性) 「映画ばかりの三十年」	渡辺幸倫	日本語	144
40	2011/6/1	CH씨 (30대 후반・여성) 「외국인 전업주부로서 큰 힘이 되진 않겠지만, 일본에서 행복한 가족을 이루고 살았기에, 이번에는 내가 도움을 줄 차례」 / CHさん (30代後半・女性) 「外国人専業主婦だけど、日本社会で家族幸せに暮らせたので、今度は自分ができるボランティアを」	李埈鉉	韓国語	146
41	2011/7/2	NY씨 (20대・여성) 「꿈을 향하여 앞으로 나아갈 수 있게 해준 유학생 생활」 / NYさん (20代・女性) 「夢に向かって進めるように、勇気を与えてくれた留学生活」	吳世蓮	日韓併用	151
42	2011/7/23	Cさん (40代、男性) 「日本で迎えた人生の転機」 / C씨 (40대・남성) 「일본에서 맞이한 인생의 전기」	ソン・ウォンソク	韓国語	155
43	2011/7/24	Cさん (20代・男性) 「放射能は怖いけどチャンス逃したくなかった」	武田里子	日本語	159
44	2011/7/24	Pさん (19歳・女性) 「友だち母子」	武田里子	日本語	160
45	2011/7/26	LHさん (30代後半・女性) 「ニューカマーとオールドカマーの狭間で」 / LH씨 (30대 후반・여성) 「뉴커머와 올드커머의 사이에서」	川村千鶴子	日本語	162
46	2011/8/1	Bさん (20代・男性) 「10年後の新大久保の変化」	河合優子	日本語	170
47	2011/8/1	D씨 (40대 중반・남성) 「한일간의 기술 교류로 더 강한 IT 국가로의 성장」	李惠美	韓国語	172
48	2011/8/1	G씨 (30대 중반・남성) 「어머니를 따라 오게 된 일본, 이제는 이 곳이 고향같은 곳」	李惠美	韓国語	174
49	2011/8/3	キムさん (20代・女性) 「就職する前に日本語を身につけたい」	河合優子	日本語	176
50	2011/8/6	L씨 (30대 후반・남성) 「한국 식품을 유통하는 업자로서 신오오쿠보에 대한 작은 바람」	李惠美	韓国語	180
51	2011/8/8	Hさん (20代・女性) 「今はただ深く考えずに絵を描きたい」 / H씨 (20대・여성) 「지금은 단지 깊이 생각하지 않고 그림을 그리고 싶다」	河合優子	日本語	181
52	2011/8/8	シンさん (20代・男性) 「自分が今やりたいことをやりたい」	河合優子	日本語	185

53	2011/8/10	Ji 씨 (30 대 후반・남성) 「세번째로 일본에 와서 일본전도의 사명을 안고」 / Ji さん (30 代後半・男性) 「三度目の来日で、日本伝道という夢の道へ」	李桴鉉	韓国語	187
54	2011/8/10	D さん (50 代・男性) 「ここに根を下ろす」 / D 씨 (50 대・남성) 「이 곳에 뿌리를 내리고」	ソン・ウォンソク	韓国語	192
55	2011/8/17	H 씨 (20 대 중반・여성) 「한국으로 돌아가기 위한 일본에서의 취업」 / H さん (20 代中盤・女性) 「韓国に帰るための日本での就職」	李惠美	韓国語	196
56	2011/8/20	KIM さん (40 代・女性) 「キャリアアップと子連れ留学」	藤田ラウンド 幸世	日本語	200
57	2011/8/22	CH 씨 (20 대 중반・여성) 「어느 곳보다 나에게 잘 맞는 일본 생활」	李惠美	韓国語	202
58	2011/8/24	J 씨 (30 대 후반・남성) 「일본에서 시작한 사회생활, 이제는 이 사회의 일원으로…」	李惠美	韓国語	204
59	2011/8/25	P 씨 (40 대・남성) 「일본의 기업정신에 반해서 일본에 오게되고, 현재는 한일 관광 교류업을 하며, 좀더 깊은 문화 교류를 기획하는 사업가로」 / P さん (40 代・男性) 「日本の企業精神に惚れて来日し、日韓の観光交流を、より深い文化交流として企画する事業家に」	李桴鉉	韓国語	206
60	2011/9/2	LJH さん (20 代・男性) 「自己責任で歩む人生」	藤田ラウンド 幸世	日本語	209
61	2011/9/2	チョ さん (20 代・男性) 「尊敬する父親が来日を助言」	藤田ラウンド 幸世	日本語	211
62	2011/9/4	G さん (30 代・男性) 「日本で始めたキャリアー」	ソン・ウォン소ク	韓国語	213
63	2011/9/4	H さん (30 代・男性) 「震災で不安はあるが、日本生活に満足」	ソン・ウォン소ク	韓国語	214
64	2011/9/4	K さん (30 代・男性) 「多様な日本社会を経験しながら」	ソン・ウォン소ク	韓国語	216
65	2011/9/5	P さん (30 代・男性) 「したいことと現実の間を迷っている感じ」	藤田ラウンド 幸世	日本語	217
66	2011/9/5	金 さん (20 代・男性) 「自分の可能性を試したい」	崔佳英	日本語	219
67	2011/9/7	NT さん (20 代・男性) 「夢はバラエティ番組のプロデューサー」 / NT 씨 (20 대・남성) 「장래희망은 오락프로그램의 프로듀서」	武田里子	日本語	220
68	2011/9/9	PJ さん (20 代・女性) 「司書として就職、でも本当にやりたいことは別にあった」	武田里子	日本語	225
69	2011/9/11	I さん (40 代・男性) 「デザインを学ぼうと来日」	ソン・ウォン소ク	韓国語	227
70	2011/9/12	PG さん (20 代・男性) 「幼少期の思い出深い場所、新宿区」	呉世蓮	日本語	228

71	2011/9/14	Cさん(30代・男性)「ニュージーランドでの出会いから日本へー韓国料理屋の開店を目指して」	堀内康史	日本語	230
72	2011/9/16	Jさん(40代・男性)「日韓の間にバウンダリー概念はない」	ソン・ウォンソク	韓国語	232
73	2011/9/20	AKさん(40代・女性)「日本での第二の人生。そして、これから」/AK씨(40대・여성)「일본에서 제2의 인생, 그리고 이제부터」	渡辺幸倫	日本語	234
74	2011/9/29	Cさん(20代・男性)「学歴社会韓国と日本」	崔佳英	日韓併用	239
75	2011/10/1	李承宰(20代・男性)「日本人の国民性と韓国人の国民性」/이승재(20대・남성)「일본인의 국민성과 한국인의 국민성」	崔佳英	日本語	240
76	2011/10/5	チョンさん(20代・女性)「日本人と外国人が明確な日本社会」	崔佳英	日本語	243
77	2011/10/5	朴さん(20代・女性)「日本人でもない、韓国人でもない」/박모씨(20대・여성)「일본인도 아니고, 한국인도 아니다」	崔佳英	日本語	244
78	2011/10/7	HJさん(20代・女性)「建築士として社会福祉にも力になりたい」	呉世蓮	日本語	250
79	2011/10/8	YR씨(20대・여성)「국제 교류를 더욱 넓혀 가고 싶다」/YRさん(20代・女性)「国際交流をもっと広めていきたい」	呉世蓮	韓国語	251
80	2011/10/13	WJ씨(20대・여성)「앞으로 더욱 더 일본 생활에 충실 할 것이다」/WJさん(20代・女性)「これから今よりもっと、日本の生活を充実させたい」	呉世蓮	韓国語	254
81	2011/10/13	Rさん(20代・女性)「外国人留学生へ差別はないものの、寂しさを感じつつ…」/R씨(20대・여성)「유학생에게 제도적인 차별이 없는 살기좋은 나라 일본…」	李埈鉉	韓国語	257
82	2011/10/14	BSさん(40代・女性)「YICSの先生として、2世代の子どもたちの教育にビジョンを抱えながら」	李埈鉉	韓国語	262
83	2011/10/16	KOさん(20代・男性)「たくさんのチャンスがある都市、日本で多くを学びたい」/KO씨(20대・남성)「많은 기회가 있는 나라, 일본에서 많은 것을 배우고 싶다」	李埈鉉	韓国語	267
84	2011/10/17	SG씨(20대・여성)「UN에서의 활약을 꿈꾸며」/SGさん(20代/女性)「UNでの活躍を目指して」	呉世蓮	韓国語	271
85	2011/10/20	HIさん(20代・女性)「卒業後には…」	渡辺幸倫	日本語	274
86	2011/10/20	TO(30代・女性)「仕事と信仰と私の関係」	渡辺幸倫	日本語	275

87	2011/10/21	AZさん(20代・女性)「人生を変えたベルサイユのばらとの出会い。9歳でした。」	渡辺幸倫	日本語	277
88	2011/10/24	SGさん(40代・男性)「韓国語教育で広げる友好の輪」	渡辺幸倫	日本語	279
89	2011/10/27	MGさん(20代・女性)「読むのも描くのも、とにかくマンガが好きなんです!」	渡辺幸倫	日本語	281
90	2011/11/26	Oさん(20代/女性)「日本と韓国の不思議な関係」	呉世蓮	日本語	281
91	2011/11/28	KH씨(40세・남성)「격동하는 신오오쿠보 거리를 몸소 느끼면서 - 한국인 사회에서 일본인과의 교류가 심화되어가는 사회로-」/KHさん(40代・男性)「激動する新大久保の街並みを肌で感じながら生きる」	李桴鉉	韓国語	282
92	2011/12/2	PUさん(30代・女性)「ハーフであることに誇りをもって育ててほしい」	武田里子	日本語	286
93	2011/12/6	Lさん(30代、女性)「突然始まった日本生活」	ソン・ウォンソク	韓国語	288
94	2011/12/10	Iさん(30代・女性)「日本で子育て、異文化を生きる」	藤田ラウンド 幸世	日本語	290
95	2011/12/19	SJ씨(30대/남성)「인터넷 정통 언론사로서의 의무와 역할」/SJさん(30代・男性)「インターネットの正統派マスコミとしての義務と役割」	呉世蓮	韓国語	291
96	2011/12/27	Mさん(30代、男性)「青春がもったいなくて来た日本に骨を埋めるつもり」	ソン・ウォンソク	韓国語	295
97	2011/12/28	CYさん(30代・男性)「IT技術者からの転身と新たな挑戦」	渡辺幸倫	日本語	296
98	2012/1/18	ISさん(30代・男性)「日本と韓国の一体化に希望を託して」	武田里子	日本語	297
99	2012/1/19	LOさん(40代・男性)「要するに知恵しかないんですね。資金もない。人脈もない。そうすると、あるのは自分の知恵しかないんですよ。頼るものが」	渡辺幸倫	日本語	298
100	2012/2/5	STさん(20代・女性)「韓国と日本、無理に選ばなくても良いんですよね?」	渡辺幸倫	日本語	300

[表の見方]

インタビューの実施順に並んでいます。日本語と韓国語の両方がある場合は最初に作られた原稿の言語が先、翻訳された原稿があとになっています。また、「使用言語」欄はインタビュー時に使用された言語です。

[표 보는 방법]

인터뷰 실시순으로 나열되어 있습니다. 일본어와 한국어 둘다 있는 경우에는 처음에 작성된 원고의 언어가 먼저 나오고 번역된 원고가 나중에 나옵니다. 또한 「使用言語」란은 인터뷰 당시 사용된 언어입니다.

あいさつ

この冊子はトヨタ財団 2009 年度研究助成 (D09-R-0422) 「新宿のニューカマー韓国人のライフヒストリー記録集の作成—顔の見える地域作りのための基礎作業—」(2009年11月から2011年10月)の最終報告書です。

このプロジェクトの背景には次のようなことがありました。

日本の多文化・多民族化は日々進展しており、新宿区に目をやっても韓国人ニューカマーが大きな存在感を持っています。しかし、同時に地域の人々との接点は必ずしも多くなく、「顔の見える関係」という地域作りの基盤が弱いといわれることもあります。

そこで、本プロジェクトでは、この基盤づくりのための基礎作業として、地域の韓国人ニューカマー100人にインタビューを行い、その内容を自由に共有できるようにしました。これによって、間接的にはありますが、「お互いを知る」という建設的な対話の前提を提供することが目的でした。

このような考えのもと、具体的にはインタビューをまとめたものを Web ページで公開し、その訪問者数は、約 4,000 人(重複除く)を超えました。また、印刷物を合計 4,120 部、発行しました。その内訳は、『記録集 1』(2010 年 5 月、500 部)、『記録集 2』(同年 9 月、750 部)、『中間報告書発行』(同年 10 月、1,000 部)、『記録集 3』(2011 年 5 月、500 部)、『記録集 4』(9 月、500 部)『最終報告書』(2012 年 5 月、870 部)です。

これまでに印刷物や Web ページをあわせるとのべ 8,000 人以上の人々に直接的にプロジェクトを見てもらうことができたことから、地域のニューカマー韓国人についての理解、そして顔の見える地域作りの基礎作業として一定の成果があったと考えています。

本プロジェクトの活動自体は終わりますが、今後も上記の成果を広く提供していくことを通して新宿区にいるすべての人たちが、かけがえのない人生の一時期を一緒に生きているという実感が持てるようになることを目指していきたいと思えます。

最後になりましたがこの場を借りて、本プロジェクト実施のためにお世話になった方々に、プロジェクトメンバー全員から心からのお礼を申し上げたいと思います。インタビューに答えてくれた

ニューカマー韓国人の方々を始め、文字起こしを担当してくれた方々、記録集などの配布に尽力してくれた方々、あげればきりがありません。皆様の協力無くしてはここまで来ることはできませんでした。

本当にありがとうございます。

2012 年 5 月
研究代表 渡辺幸倫

このプロジェクトは、トヨタ財団 2009 年度研究助成 (D09-R-0422) 『新宿のニューカマー韓国人のライフヒストリー記録集の作成—顔の見える地域作りのための基礎作業—』(2009 年 11 月~2011 年 10 月)の助成を受けて行われました。
www.sagami-wu.ac.jp/guideline/kenkyu/research/new_comer/top.html
(プロジェクトの終了によりページが移動しました)

인사말

이 책자는 토요타 재단 2009년도 연구 조성 (D09-R-0422) 「신주쿠의 뉴커머 한국인의 라이프 히스토리 기록집의 작성-얼굴이 보이는 지역 만들기를 위한 기초 작업-」(2009년11월부터 2011년10월)의 최종 보고서입니다.

이 프로젝트의 배경은 다음과 같습니다.

일본의 다문화·다민족화는 매일 진전 하고 있으며, 신주쿠구를 보면 한국인 뉴커머가 큰 존재감을 가지고 있습니다. 그러나 동시에 지역의 사람들과의 접점은 그다지 많지 않으며, 「얼굴이 보이는 관계」라고 하는 지역 만들기의 기반이 약하다고 볼 수도 있습니다.

거기에서, 본 프로젝트에서는, 이 기반 만들기를 위한 기초 작업으로서 지역의 한국인 뉴커머 100명에게 인터뷰를 진행하고 그 내용을 자유롭게 공유 할 수 있도록 하였습니다. 이것으로 인해서 간접적이기는 하지만, 「서로를 알다」라는 건설적인 대화의 전제를 제공 하는 것이 목적이었습니다.

이 같은 생각을 바탕으로, 구체적으로는 인터뷰를 정리한 내용을 웹페이지에서 공개 하고, 그 방문자 수는 약4,000명 (중복제외) 이었습니다. 또한, 인쇄물을 함께 4,120부를 발행 했습니다. 그 내역은, 『기록집1』(2010년5월, 500부), 『기록집2』(2010년9월, 750부), 『중간 보고서 발행』(2010년10월, 1000부), 『기록집3』(2011년5월, 500부), 『기록집4』(9월, 500부) 『최종 보고서』(2012년5월, 870부)입니다.

지금까지 인쇄물, 웹페이지를 합치면 약 8,000명 이상의 사람들이 직접적으로 프로젝트를 접하게 된 것이며, 이것은 지역 뉴커머 한국인에 대한 이해, 그리고 얼굴이 보이는 지역 만들기의 기초 작업으로서 일정의 성과가 있었다고 생각합니다

본 프로젝트의 활동 자체는 끝나지만, 앞으로도 상기의 성과를 폭 넓게 제공 해 가는 것을 통해서 신주쿠구에 있는 모든 사람들이 둘도 없는 인생의 한 시기를, 함께 살고 있다는 실감을 가질 수 있게 되는 것을 목표로 삼고 싶다고 생각합니다.

마지막으로 이 자리를 빌려서 본 프로젝트 실

시를 위해서 신세를 진 분들에게, 프로젝트 멤버 전원으로부터 마음 깊이 감사의 인사 말씀을 드리고 싶습니다. 인터뷰에 응해 주신 뉴커머 한국인 분들을 비롯하여, 문자 기록을 담당해 주신 분들, 기록집 배부에 힘을 써 주신 분들, 여기에 전부 다 적을 수 없을 만큼 많은 분들의 협력 없이는 여기까지 올 수 없었습니다.

진심으로 감사드립니다.

2012년 5월
연구대표 와타나베 유키노리

이 프로젝트는 토요타재단2009년도 연구조성 (D09-R-0422) 『신주쿠 뉴커머 한국인의 라이프히스토리 기록집 작성-얼굴이 보이는 지역 사회 만들기를 위한 기초작업-』(2009년11월~2011년10월)의 조성을 받고 행해졌습니다.

www.sagami-wu.ac.jp/guideline/kenkyu/research/new_comer/top.html

(프로젝트 종료로 인해 페이지가 이전되었습니다.)

プロジェクトの概要

多文化・多民族化する日本の地域社会で、住民同士のつながりをどのように作っていくのかが重要な課題となっています。特に新宿区では韓国人ニューカマーが大きな存在感を持っているものの、地域の人々との接点は必ずしも多くなく、「顔の見える関係」という地域作りの基盤が弱いといわれています。

本プロジェクトでは100人の韓国人ニューカマーに一人一時間程度のライフストーリー・インタビューを行い、その内容を本人の同意のもと、定期的に印刷物・ホームページで公開し自由に共有できるようにします（インタビュー方法の詳細については、武田里子「インタビュー調査について」をご参照下さい）。重要な社会の構成員としてインタビューされる人々の地域社会への所属意識向上が期待できるとともに、受け入れ社会側には「地域にいる『韓国人』も、かけがえのない人生の一時を、同じ地域空間を共有しながら生きている」という気づきが可能となるのではないのでしょうか。

このプロジェクトの理論的背景には、人生を語り／聞くことで世界観を作っていくという物語（ナラティブ）理論やライフサイクル論などがあります。本プロジェクトは、インタビューを通して、関係する全ての人々が自己を肯定しながら社会を理解できるようになることを目指しています。このような人と地域のつながりを作る手がかりを得ることが本プロジェクトの目標です。

프로젝트 개요

다문화, 다민족화가 진행되고 있는 일본 지역 사회는 주민들 사이의 연결고리를 어떻게 만들어 가느냐라는 중요한 과제를 안고 있습니다. 특히 신주쿠는 한국인 이주자가 큰 존재감을 가지고 있지만 지역의 주민들과의 교류가 적어 “얼굴이 보이는 관계”라는 지역사회를 만들기 위한 기반이 취약합니다.

본 프로젝트에서는 한국인 이주자100명에게 한 시간 정도의 라이프 히스토리 인터뷰를 하여 본인의 동의하에 그 내용을 정기적으로 인쇄물, 홈페이지에 공개하여 자유롭게 공유할 수 있도록 하려고 합니다 (인터뷰 방법에 관한 상세한 내용은, 타케다 사토코(武田里子) 「인터뷰 조사에 관하여」를 참조해 주십시오). 이로 인해 인터뷰에 응해 주신 분들이 사회의 중요한 구성원으로서 지역사회에의 소속감을 고취시키는 것과 동시에 지역사회 측에는 “지역사회에 속한 한국인 또한 인생의 소중한 한 시기를 같은 지역공간에서 함께 살아가고 있다”는 사실을 깨닫게 할 수 있지 않을까요?

이번 프로젝트는 인생에 대하여 듣고 말하는 것을 통해 세계관을 만들어 나가는 이야기(내러티브)이론을 배경으로 하고 있습니다. 그리고 인터뷰를 통해 모든 분들이 자신에 대해 긍정적인 마인드를 가짐과 동시에 사회를 이해할 수 있기를 바랍니다. 즉 사람과 지역의 연결고리를 만드는 계기가 되는 것, 그것이 본 프로젝트의 목표이기도 합니다.